

## 熱害警報装置等試験

### 1. 総則

熱害警報装置等試験の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」(平成 14 年国土交通省告示第 619 号) 別添「自動車のばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置に係る熱害警報装置等の技術基準」の規定及び本規定によるものとする。

### 2. 測定値及び計算値の末尾処理

測定値及び計算値の末尾処理は、別表により行うものとする。

### 3. 試験記録及び成績

試験記録及び成績は、附表の様式に記入する。

3.1 当該試験時において該当しない箇所には斜線を引くこと。また、使用しない単位については二重線で消すこと。

3.2 記入欄は、順序配列を変えない範囲で伸縮することができ、必要に応じて追加してもよい。

## 別表

## 測定値等の末尾処理

## ◎試験自動車

項 目		末尾処理
試	総排気量	諸元表記載値 (L)
試	車両総重量	諸元表記載値 (kg)

注) 試：試験成績表に記載する桁数

## ◎試験条件

項 目		末尾処理
試	試験自動車重量	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (kg)
試	気温	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (K 又は℃)

注) 試：試験成績表に記載する桁数

## ◎運転条件

項 目		末尾処理
試	F：走行抵抗	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (N)
試	V：試験速度	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (km/h)

注) 試：試験成績表に記載する桁数

## ◎試験成績（各部最高温度）

項 目		末尾処理
試	許容温度	設計値 (K 又は℃)
試	走行開始前の温度	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (K 又は℃)
試	走行中の最高温度	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (K 又は℃)
試	放置状態の最高温度	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (K 又は℃)

注) 試：試験成績表に記載する桁数

## ◎試験成績（警報装置の作動状況）

項 目		末尾処理
試	設定温度	設計値 (K 又は℃)
試	警報作動温度	整数位を四捨五入し、10位まで記載 (K 又は℃)
試	警報解除温度	整数位を四捨五入し、10位まで記載 (K 又は℃)
試	暗騒音	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (dB)
試	測定値	小数第1位を四捨五入し、整数値まで記載 (dB)

注) 試：試験成績表に記載する桁数

付表

熱害警報装置等の試験記録及び成績

試験期日 年 月 日 試験場所 試験担当者

1. 試験自動車

車名・型式(類別) 原動機型式  
 車台番号 総排気量 L  
 車両総重量 kg 一酸化炭素等発散防止装置方式  
 等価慣性重量 kg

2. 試験機器

シャシダイナモメータ  
 送風機  
 温度記録計

3. 試験条件

試験自動車重量 kg  
 天候  
 気温 K (°C)

(注) シャシダイナモメータを用いて行った場合には記入を要しない。

4. 運転条件

試験速度 (km/h)	使用変速段	走行抵抗 (N)	備考

5. 試験成績 (その1~その5)

その1 各部最高温度表及び測温点位置説明図

(1) 各部最高温度表

No	測温点部位名又は部品名	当該測温点に対する直接的熱源部位名	使用した感温素子	許容温度 (K (°C))	走行開始前の温度 (K (°C))	最高温度	
						走行中の最高温度 (警報作動中を除く) (K (°C))	放置状態の最高温度 (警報作動中を除く) (K (°C))
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
・							
・							

(注) 許容温度とは、当該部位又は部品について自動車製作者が安全上許容できる温度として定めたものをいう。

(2) 測温点位置説明図

その2 警報装置の作動及び警報の状況

(1) 警報装置の種類

(2) 警報装置の作動方法

(3) 警報発生時の措置内容

(4) 警報装置の作動状況

設定温度	警報作動温度	警報解除温度
± K (°C)	K (°C)	K (°C)

(5) 警報装置の警報状況

音による警報装置

暗騒音 dB (A)	測定値 dB (A)	他の警報との判別
		可 ・ 否

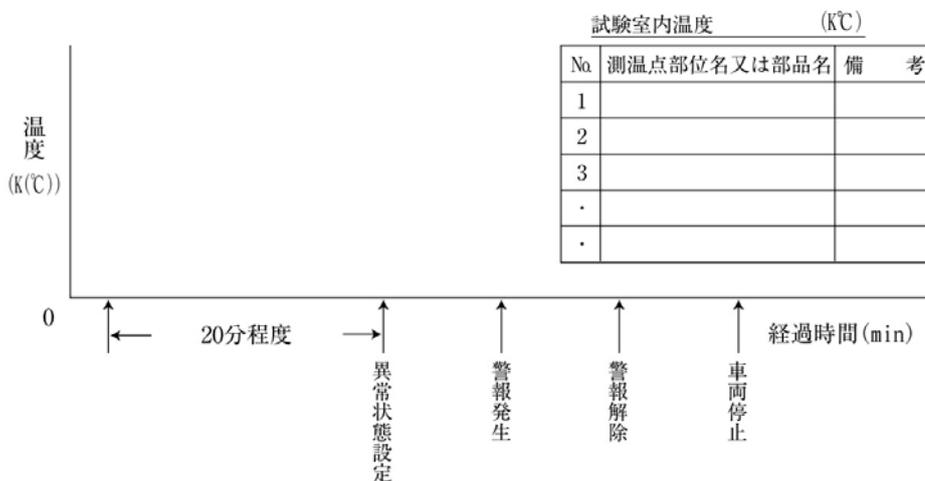
灯光による警報装置

他の警報との判別	可 ・ 否
作動前の装置が正常であることの確認	可 ・ 否
灯光の取付位置	灯光の色 色

その3 コーションラベル等による取扱方法の表示 適 ・ 否

その4 試験自動車の点検結果

その5 温度推移図



- (注)
1. 時間軸の進行方向は、左右いずれかでもよい。
  2. 車両停止時を起点として、別図に掲げる許容温度曲線を併記する。
  3. 5.3(4)に該当する部位は、備考欄に○印を記載する。
  4. 6.のただし書きにより試験を行った場合には、その試験内容に応じて記載する。

備考

---



---



---

別図 許容温度曲線

